

【生命科学部】令和6年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

令和5年度より学部共通開講となった学部基盤科目の「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」について、両学科の受講生の特徴を把握し、今後の基盤科目運営の参考にするため、両学科の成績分布等をまとめ、学部基盤科目の位置づけに関する議論を始める。

令和6年度は、公開授業ワークショップでこの話題を取り上げ、取り組む。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：学部基盤科目の位置づけを考える

(2) 目的：学部共通開講となった学部基盤科目の「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」について、両学科の受講生の特徴を把握し、今後の基盤科目運営の参考にする

(3) 期待する効果：生命科学部の学びの基盤を形成する学部共通開講の基盤4科目の特徴を理解し、現状の問題点を把握し、改善に役立てることにより、学部専門教育の充実に結びつける。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

公開授業

- ・科目 代謝生物化学
- ・担当教員 遠藤斗志也先生
- ・実施日時/場所 令和6年5月17日（金）1限，天地館 T303

ワークショップ

- ・実施日時/場所 令和6年5月17日（金）3限，15号館 15102
- ・タイトル：学部共通基盤科目を考える

(2) その他研修会等：

※（1）以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。